

平成26年度予算見積調書

課室名：財政課
 担当名：予算総括担当
 内線：2174

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B4	予算編成システム管理費			一般会計	総務費	総務管理費	財政管理費	予算編成システム維持管理費	
事業期間	平成19年度～平成26年度	根拠法令	なし			戦略項目 分野施策			
<p>1 事業概要</p> <p>予算編成システムは、各部局の予算見積調書の作成から財政課の予算審査や各種集計作業、予算説明書などの議会提出資料等の原稿出力、財務会計システムへの予算データの登録までの予算編成の一連の作業の支援を行うシステムである。</p> <p>本システムを安定的に運用するため、システムの維持管理を行うとともに、必要機器等の賃貸借を行う。併せて、決算統計機能を付加する改修を行う。</p> <p>(1) 維持管理費 3,495千円 (2) 機器賃貸借 173千円 (3) 決算統計機能付加改修費 22,994千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 維持管理費 3,495千円 (ア) システムの適切な運用のため、SEによる障害対応、システム修正等の保守業務(通年) 3,495千円 イ 機器賃貸借 173千円 (ア) システム運用に必要なソフトウェア、機器等のリース料(12カ月分) 173千円 ウ 決算統計機能付加改修費 22,994千円 (ア) 予算編成システムに決算統計機能を付加するための改修 22,994千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 平成26年度 予算編成システムに決算統計機能を付加(平成26年度決算から活用) その他、毎年度軽微なシステム改修を適宜実施</p> <p>(3) 事業効果 予算編成システム導入による経費削減効果(7年間で 30,026千円) 新たに予算編成システムに決算統計機能を付加することにより、毎年度の決算統計作業に係る経費削減効果(毎年 58,412千円ずつの経費削減)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携 知事審査を行った事業については、職員のマンパワーにより、要求額、審査の考え方等がわかる資料を作成して公開している。</p> <p>(5) 前年度からの変更点 予算見積調書公開のための改修は終了 予算編成システムに決算統計機能を付加するためのシステム改修の実施 <決算統計機能の概要> 予算編成システム(性質別経費)と財務会計システム(決算額)の連携により、性質別経費等の決算額を把握し、これまでの職員のマンパワーによる作成から、システムを活用した効率的な作成に改善する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県 10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	26,662							26,662	17,930
前年額	8,732							8,732	